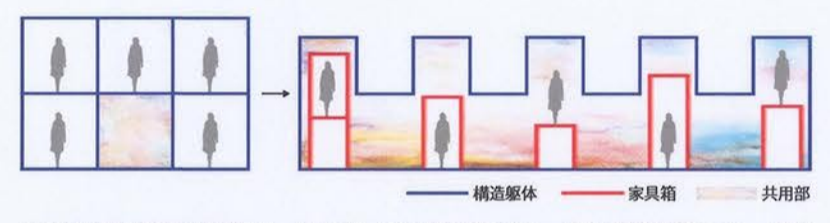




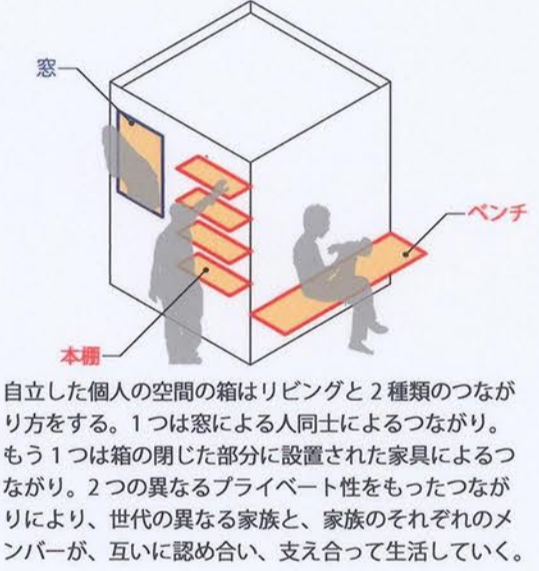
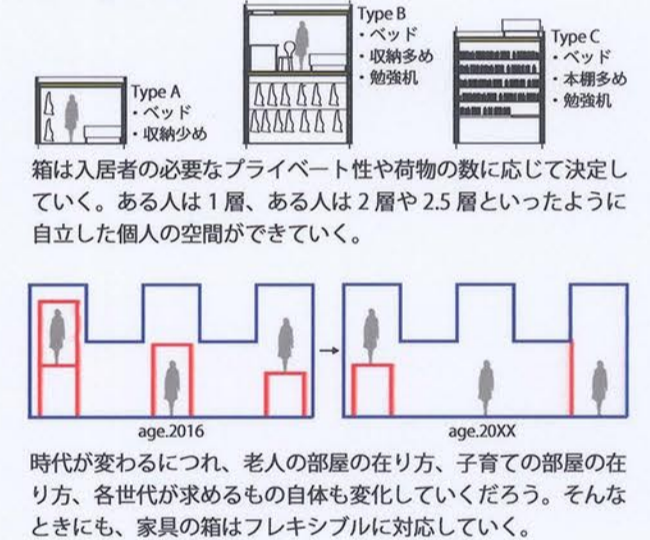
1人1箱 - 躯体と分離した個室による緩やかな集合体 -

_Concept



今までの個室は構造躯体と一体となっていたがゆえに、どこか堅さがあつた。その堅さは同一なもの強固な集合体をつくり、世代別のつながり方のフレキシブル性を失わせていた。そこで自立する個人であるために構造躯体から切り離し、個人の要望に応えられ、なおかつ更新可能な家具として個室を考えてみる。凸凹な建物躯体に対応するように個人の要望に応えた箱を挿入する。すると共用部は地続きとなり、箱の中は個室となる。そして箱の上部と建物躯体の間は箱の高さでプライベート性が決まる、個室と共用部の間の空間となる。個室を構造躯体から切り離して家具とすることで、包括する全体、明確な個、そしてそれぞれの間が生まれ、世代を超えてつながる、自立する個人の緩やかな集合体が生まれる。

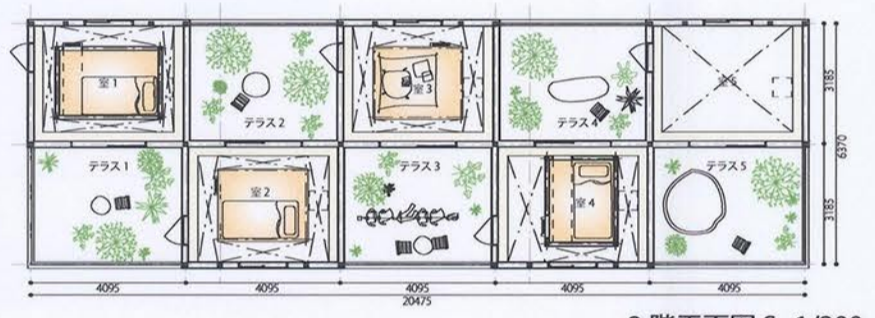
_Diagram



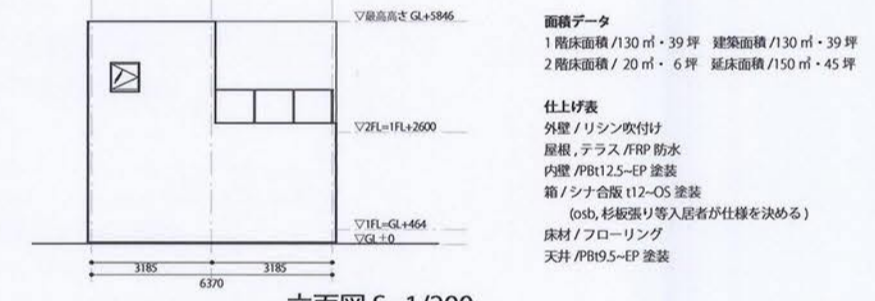
自立した個人の空間の箱はリビングと2種類のつながり方をする。1つは窓による人同士によるつながり。もう1つは箱の閉じた部分に設置された家具によるつながり。2つの異なるプライベート性をもったつながりにより、世代の異なる家族と、家族のそれぞれのメンバーが、互いに認め合い、支え合って生活していく。



_1階平面図 S=1/200



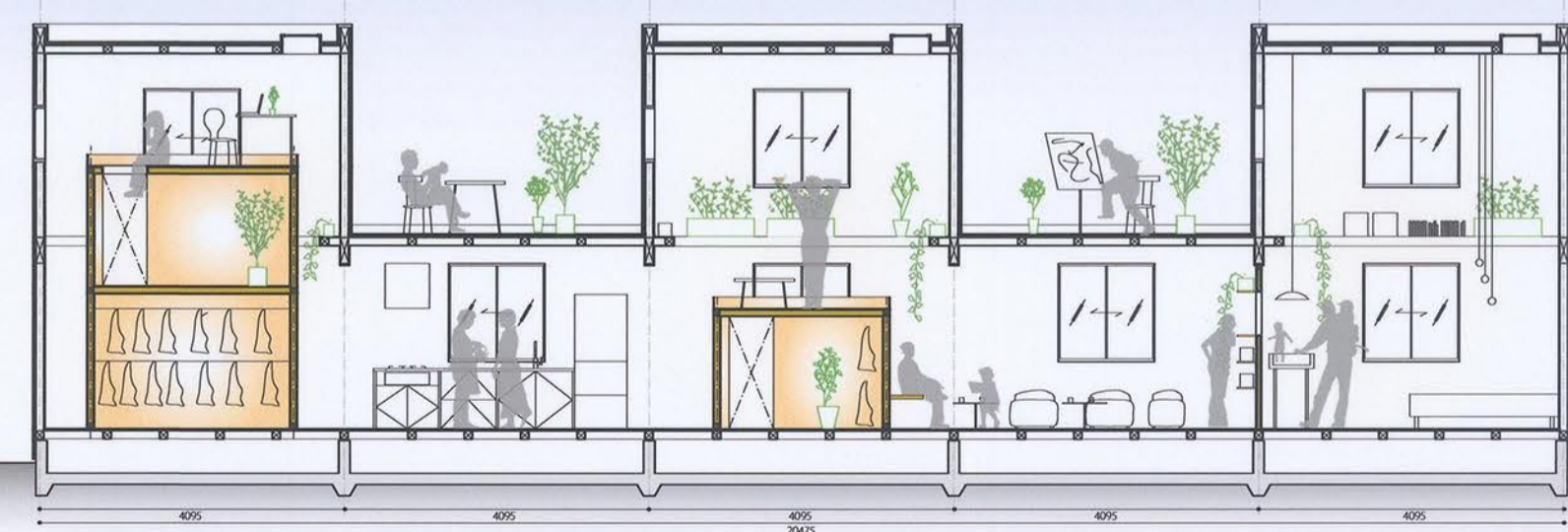
_2階平面図 S=1/200



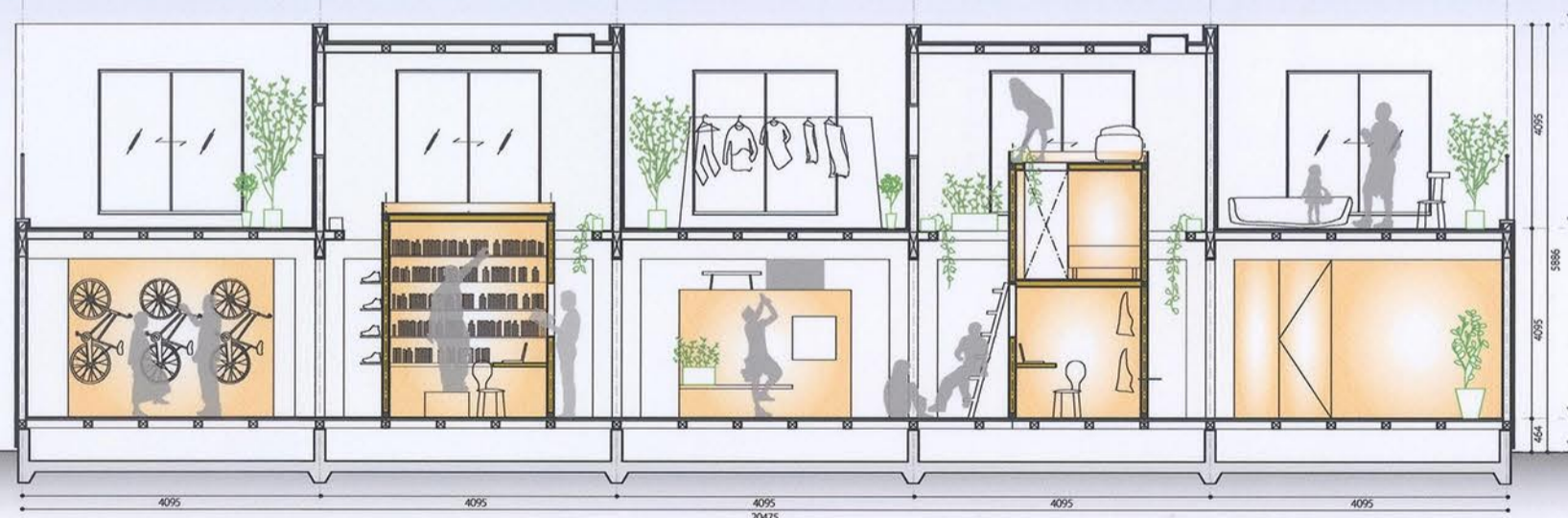
_立面図 S=1/200

面積データ
 1階床面積 / 130㎡・39坪 建築面積 / 130㎡・39坪
 2階床面積 / 20㎡・6坪 延床面積 / 150㎡・45坪

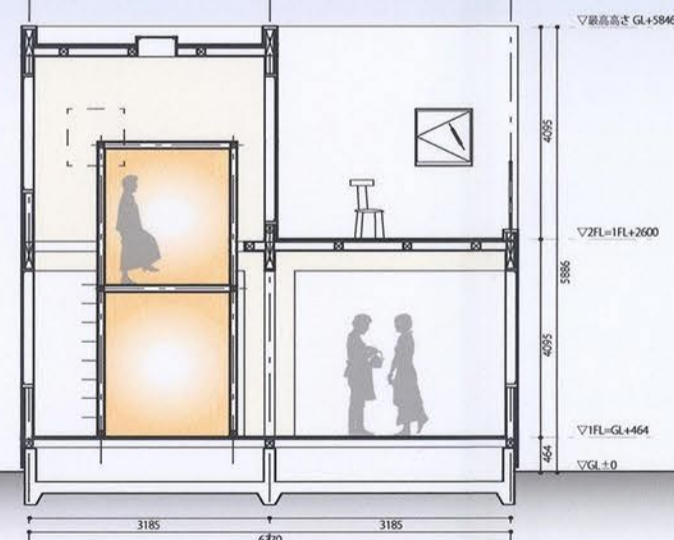
仕上げ表
 外壁 / リン酸エポキシ
 屋根 / テラス / EP防水
 内装 / FR12.5-EP塗装
 箱 / シノ合板 t12-O5塗装
 (※b, 杉板張り等入居者が仕様を決める)
 床材 / フローリング
 天井 / FR9.5-EP塗装



_断面図 A S=1/100



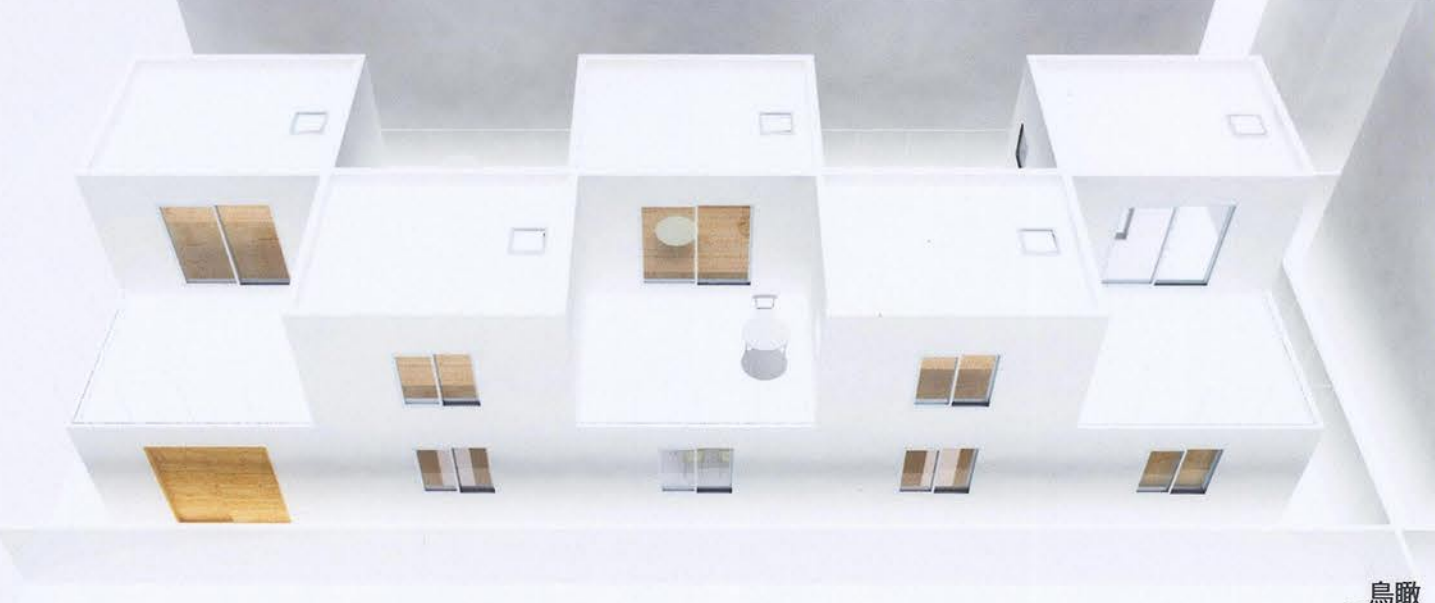
_断面図 B S=1/100



_短手断面図 S=1/100



_前面道路より



_鳥瞰



_テラス